

# 学びのすすめ



自ら学ぶ生徒に

名張市立北中学校

名前

## はじめに ～ 家庭学習で「学ぶ力」を育てましょう ～

小・中学校での学習は、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。学校は、基礎学力を高める努力をしていますが、家庭との協力によって、その成果を何倍にも高めることができます。

「学ぶ力」とは、「もっと調べてみたい」「もし・・・だったら、どうなるのだろう」「なぜ・・・なのだろう」など自分で意欲や疑問をもちながら、知識をいかし、見通しを持って考える力のことを言います。家庭学習を毎日続けることで、しっかりとした考え方や集中力が身につきます。家庭学習の定着は、子どもの主体性や自立性を伸ばし、目標を持って人生を心豊かに生きる力となって、将来への大きな財産となります。

### 家庭学習が大切なわけ

「授業の充実と家庭学習の定着」は車の両輪のようなものです。学習意欲の向上に最も重要なのは、学校としての授業力の向上ですが、授業についていくための基礎・基本を生徒が身につけていることも大切です。土台がしっかりしていないと、いずれ授業がわからなくなり、やる気がなくなってしまうからです。そこで、家庭学習によって授業についていけるだけの基礎的な力を身につけていく必要があるのです。

### 家庭学習って何？

家庭学習とは、宿題や自主学習のことです。

- 宿題 必ずしなければならない課題のことです。主に基礎的な力を身につけることを目指します。
- 自主学習 自分で課題を見つけ、追求する力が育ちます。  
〈例〉 漢字、意味調べ、計算問題や勉強したところに関係のあることを調べたり、自主勉強帳にまとめてみる。また市販の問題集やテレビの教育番組や英語番組の視聴などに取り組んでみるのもいいでしょう。

### 学年に応じて

家庭学習の内容も、各学年に応じて適切なものになっていなければなりません。学年が上がるにつれ、生徒の自主性に任せるようにすることが大切です。

(場所)	家の中で落ち着いた場所	いつも同じ場所で。
(内容)	1年生	復習中心 自主学習の習慣化 定期テスト勉強の計画と実行
	2年生	復習に予習を加える 自主学習の習慣化 定期テストの勉強の計画と実行
	3年生	進路に向けて3年間の総復習



## 家庭学習：はじめの一步

### 学習のポイント

#### (1) 学習の計画

- 学習する場所を決めましょう。
  - ・落ち着いて学習できる場所を決めよう。
- 学習する内容を決めよう。
  - ・まず宿題をすませ、次に予習や復習に取り組んでみよう。

テレビを見ながらの勉強では身につかないよ。



#### (2) 時間の使い方

- 少しの「くふう」と「がまん」でまずは毎日30分間と決めて、宿題をしよう。
  - ・毎日つづけるようにしよう。慣れたら時間を増やしていこう。
  - ・自分が一番集中して学習できる時間を見つけよう。
  - ・テレビやゲームの時間、携帯やスマホを扱う時間を少しけずってみよう。
  - ・ゆとりのある休日には、学習時間を少し多めにとろう。

#### (3) 宿題の仕方

- その日のうちにすませよう。
  - ・わからないときは、本や辞書などで調べ、それでもわからないときは、次の日に先生にたずねよう。
  - ・わからないことはそのままにせず、早めに先生にたずねよう。

## ここから始める簡単メニュー

#### ○ 音読

- ・今日学習したことや今度学習する教科書のページを声を出して読んでみよう。

#### ○ 本文のたしかめ

- ・教科書の本文の中で、興味をもったり、大切だと思った文章をノートに写してみよう。

#### ○ 漢字練習・計算練習

- ・新出の漢字や語句、学習したけど読み書きが定着していない漢字や語句をノートに書き写し、意味などを調べてみよう。
- ・学習した計算問題など、もう一度解いてみよう。

#### ○ まちがい直し

- ・テストやプリントのまちがえた問題を、教科書やノートを見ながら、もう一度解いてみよう。

## 中学校 1・2年生

### 中学生の生活リズムと学習習慣を身につけよう

中学  
1・2年生では

- 「早寝・早起き」「しっかり朝食をとる」など基本的な生活習慣を見直しましょう。
- 部活動なども始まり生活リズムが大きく変わります。まず、中学校の生活リズムに慣れることが大切です。
- 「思春期」を迎え、心と体の成長がアンバランスになりがちで、ちょっとしたことで、不安・悩みを抱えやすくなります。
- 自我がめばえ、親や周囲の者に反抗的になったり、仲間や友だちの影響を強く受けたりします。

学校では

- 教科ごとに先生がかわる、教科担任制になります。
- 学習内容が小学校に比べ、深まり、量も多くなります。
- 宿題が、出る出ないにかかわらず、自分で計画的に学習を進める必要があります。
- 定期テスト（中間・期末）があります。直前の学習だけでなく、日頃の積み重ねが大切です。

### 家庭学習の3つのポイント

#### Point 1 生活リズムの中に家庭学習を ～ 最初が肝心 ～

- ・まずは習慣化が大切。中学校の生活リズムの中にも家庭学習は大切です。部活動などの両立は慣れるまで大変ですが、時間を有効に使うことを心がけましょう。

#### Point 2 家庭学習の方法を工夫しよう ～ 自分流を確立しよう ～

- ・家庭学習の内容は、予習復習を中心に行えばよいでしょう。どちらに重きをおくかは教科にもよるので担当の先生に聞いてみましょう。
- ・授業があったその日のうちにノート整理や教科書・プリントを使つてのポイント整理などをしておくと定期テスト時に役立ちます。自主勉強帳をつくっておくのもいいでしょう。

#### Point 3 わからないときは ～ 聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥 ～

- ・わからないことが出てきたら、できるだけ早く解決することです。友だちや先生に相談するとよいでしょう。自信をもって問題を解いたり、テストで答えを導き出したりするためには、自分でしっかり理解できていることが大切です。

学習時間の  
めやすは  
30～60分



## 中学校 3 年生

### 将来を見すえた目標を持ち、努力しよう

中学  
3 年生では

- 自分の進路を選択する時期となり節目の時です。気持ちが不安定になり、あせったり、苛立ったりしがちです。
- 本人だけでなく、家族も不安定になりがちです。保護者の不安が子どもに影響をおよぼすこともあります。本人も家族も正しい進路情報を得ましょう。
- 将来を見すえた具体的な目標を持つことが、意欲の向上・学習への集中力につながります。

学校では

- 3 年生の学習内容は、1・2 年生からかけ離れてむずかしいわけではありませんが、今までの総復習をするための時間が必要となります。
- 日頃の授業を大切にして、基礎・基本を確実に身につけることが必要です。
- 学校では行事や部活動において中心的な立場になります。時間の使い方を工夫し、けじめをつけて、学習との両立をはかりましょう。

### 家庭学習の3つのポイント

#### Point 1 日頃の積み重ねが力になる ～ あせらず一歩一歩 ～

- ・今までの家庭学習を継続・発展させ、着実に力をつけていきましょう。
- ・起床から就寝までの生活スケジュールの見直しを行い、時間を有効に使いましょう。
- ・予定通り学習を進めたら、家庭学習のノート等にチェックしていくことも自分への励ましになります。

#### Point 2 年間スケジュールを考えよう ～ 時期を考慮して ～

- ・3 年生の1 年間を見すえて、学習計画を立てましょう。3 年生の生活は変化のある1 年です。年間スケジュールを考えることで、今、自分のすべきことが明確になってきます。3 年生の学習内容と1・2 年の復習を計画的に取り組みましょう。
- ・長期の休み（夏休み・冬休み）、または部活動引退後は、継続的に学習ができる絶好の機会です。計画的に過ごしましょう。

#### Point 3 家庭で話し合いましょう ～ 「やすらぎ」と「支え」を ～

- ・家族であっても話をしないとお互いの心の内はわからないものです。将来の希望について、話し合いの時間を持ちましょう。
- ・気分が不安定で苛立ったりしますが、家族の気づきが大変

学習時間の  
めやすは  
60分以上



うれしい時でもあります。じっくりと話をする時間を持ち、ご家庭では励ましの声をかけてあげてください。

## ～ 継続は力なり ～

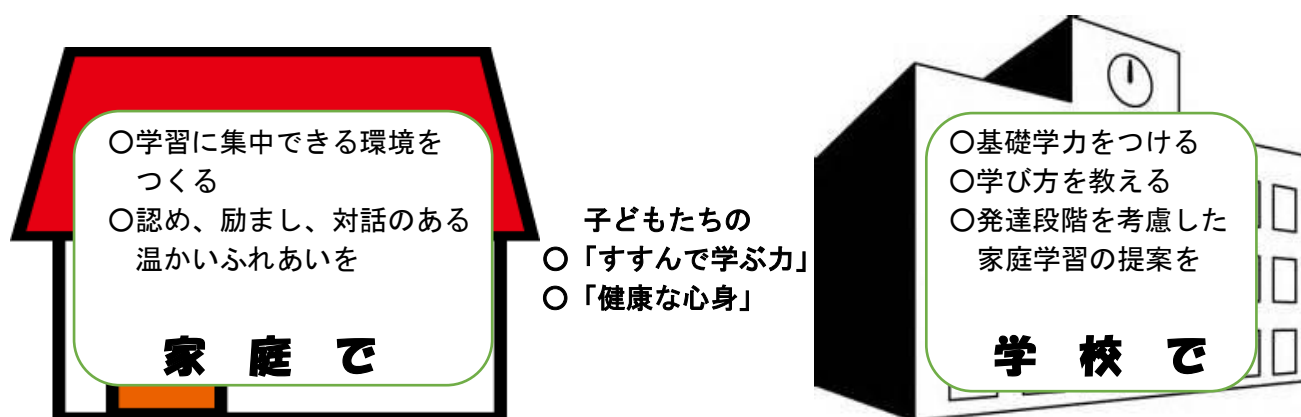
- 毎日1度は、教科書を読みましょう。繰り返し読むことで自然と読解力がついてきます。
- 国語** ○漢字は何度も書いて、確実に身につけましょう。  
○意味のわからない語句は、国語辞典で調べて確かめましょう。  
○興味や関心のあることがらや分野を題材とした本を積極的に読みましょう。
- 地域や社会のできごとに関心を持ち、新聞やテレビなどで話題になっていることを自分でも考えてみる習慣をつけましょう。
- 社会** ○教科書や資料集を繰り返し読んで学習し、内容の理解を深めるよう努力をしましょう。また難しい語句も多いので、少しずつ覚えていきましょう。  
○授業中に学習したことを、わかりやすく工夫してまとめてみましょう。
- 授業で取り組んだ計算問題を、その日のうちにやり直し復習しましょう。
- 数学** ○授業中に学習した文章問題と同じ種類の問題を、問題集などを利用して解いてみましょう。
- 実験や観察から得た図やグラフなどの資料を見ながら、なぜそうなるのかを考えるようにしましょう。
- 理科** ○その日の授業で学習したことをまとめたり整理しておきましょう。また習った知識が定着しているか問題集などで確認しましょう。  
○身のまわりのできごとや自然に関することに疑問や関心をもって調べてみましょう。
- 新出語句と基本文は、声を出しながら繰り返し書き、確実に身につけましょう。
- 英語** ○授業で学習した英文を声を出して読んでみましょう。読めたらその意味を日本語で書いて、今度はその日本語を見ながら、英文で書くなど繰り返し取り組んでみましょう。  
○授業で習った基本文型や文法を用いて、英文を書いたり行ったりしてみましょう。
- 音楽会や展覧会へ行くなど、すばらしい芸術にふれる機会をたくさん作りましょう。
- その他** ○スポーツなどで体を動かし、健康の保持に心がけましょう。

家庭では  
こんな学習を  
しよう。



## 保護者の方へ

**「学ぶ力」を育てることは学校教育の重要な役割ですが、  
家庭での関わり方によって、その育ちは大きく変わります。**



**家庭と学校が協力しあって子どもの「学ぶ力」を育てましょう**

## 家庭の学習環境を整えましょう

北中学校では、基礎学力の向上や学習習慣の定着に力をいれていきたいと考えています。基礎学力を定着させ、「学ぶ力」を育てるためには学校の授業だけでなく、家庭での学習習慣が大きな役割を果たしています。学校で子どもたちの主体的な学びを育て、学び方を身につけさせると同時に、家庭ではお子さまの基本的な生活を確立し、決まった場所で一定の時間、学習に集中して取り組ませるようにすることが重要だと考えています。

学習をするときは、テレビを消して学習する場の整理整頓をするなど、集中して学習に取り組むことのできる環境を整えることが必要です。勉強する場所や時間を決め、テレビやゲームをする時間、携帯・スマホを扱う時間などを決めましょう。

## 家庭学習の定着に向けて、話し合いをお願いします。

「自ら学ぶ子どもたち」を育てるためには、子どもたちが一番安心して生活ができる家庭で、安定したリズムの中、継続して学習に取り組むことが重要です。1・2年生では宿題や課題をやりきるなど基本的な学習習慣を身につけさせるために、課題を多く出したいと考えています。3年生では授業の復習、自主勉強など自学自習の習慣を身につけること

が重要です。各家庭の事情やお子さまの実態に合わせて、家庭での約束ごとなどを話し合いながら、一度家庭学習について、お話しただけたらと思います。